

ゆとり世代VS氷河期世代 働く女性の目指す働き方の違いは？ ～ ライフイベントで一段階、でも定年まで働きたい ～

株式会社かんでんCSフォーラムは、『ゆとり世代』（26～30歳）、『氷河期世代』（36～43歳）の働く女性に対して、自主調査「働き方に関するアンケート調査」を実施した（調査期間：2018年10月1日～2018年10月2日、回答者：200名）。

目指している（目指していた）働き方について、【最初の就職時（働き始めた頃）】【現在】【将来】に分けて聞いたところ、『ゆとり世代』、『氷河期世代』とも「やりがいのある仕事（適職）」、「やりたいと感じる仕事（天職）」がどの時期でも上位に挙がっている。『ゆとり世代』の【最初の就職時】では、「結婚・出産を機に辞めるつもり」が最も高く、この世代においても「寿退社」を意識している面がみられた。『ゆとり世代』、『氷河期世代』とも、【最初の就職時】から【現在】【将来】という時間の流れの中で、「結婚、出産を機に辞めるつもり」の割合が低くなる一方、「出世せず、定年まで働く」の割合が高くなっていった。『氷河期世代』では「起業、独立したい」の割合も高い傾向がみられた。

【最初の就職時】から【現在】までの働き方の変化についての自由記述では、どちらの世代とも、「子どもが産まれたので、仕事よりもプライベート重視で、短時間で融通が利くパートになった」といった仕事と家庭の両立に関する意見や、「結婚や出産をしても金銭的に辞められない、辞めない方が良く考えるようになった」といった生活のために働く意見が多い。一方、「結婚、出産のため、休んだ期間があり、同期と、役職に差が出た。女性の社会進出が進む中、ライフイベントによって、評価に差を付けられることは不本意であり、働く意欲が低下した。」といった意見もあった。さらなる女性活躍推進においては、結婚や出産といったライフイベントが障壁にならない、誰もが公平に評価される環境づくりが急務である。

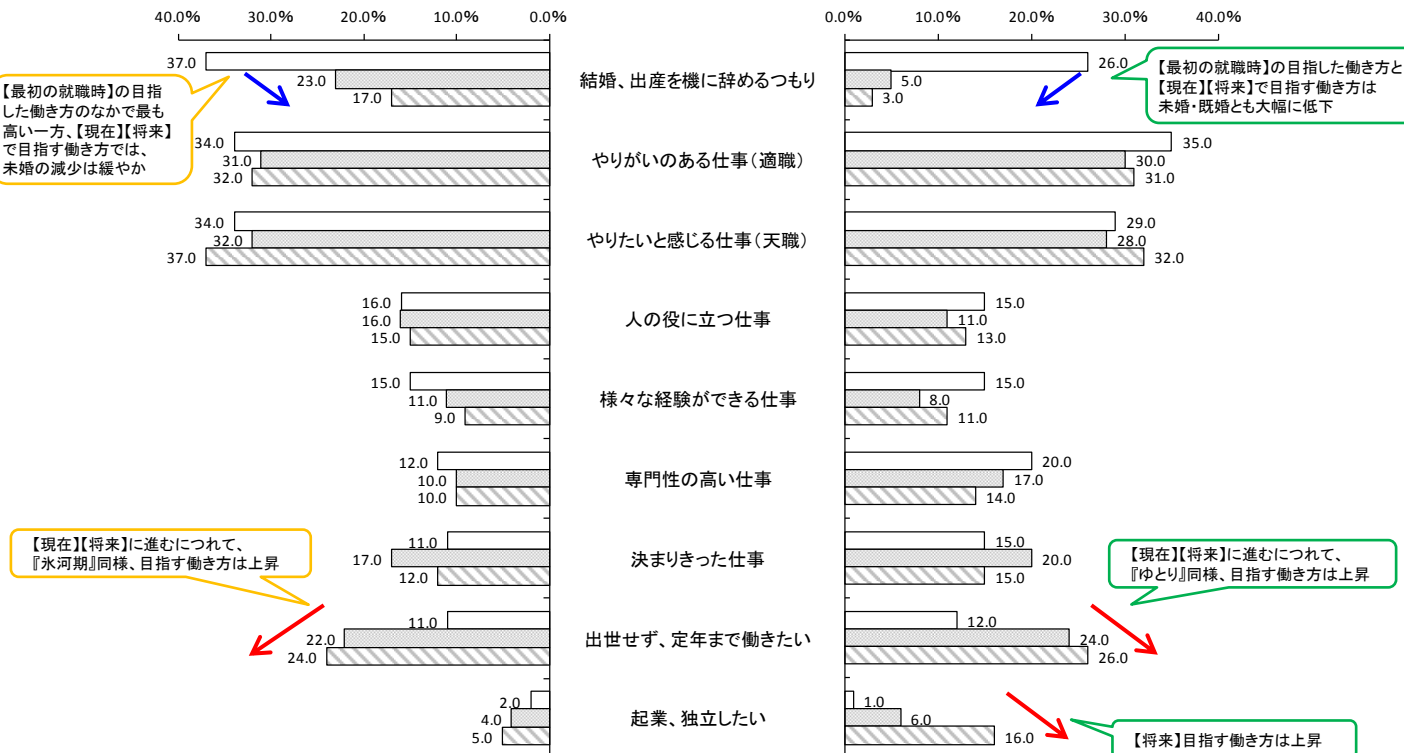
Q.あなたが目指している（目指していた）働き方はどのようなものですか？
【最初の就職時（働き始めた頃）】、【現在】、【将来】別に、あてはまるものすべてお答えください。

※グラフ表示の項目は抜粋

□ 最初の就職時 □ 現在 ▨ 将来

ゆとり世代（n=100）

氷河期世代（n=100）



よろしければ、記事にお使いください。（その際には下記問合せ先までご一報ください。）
結果、調査に関する詳細など（属性別のクロス集計など）についても、ご興味があればお問い合わせください。



<問合せ先> 株式会社かんでんCSフォーラム
担当：水野、大平、三國、杉本

TEL: 06-4963-8838 / FAX: 06-6282-6300 / メール: marketing@kcsf.co.jp

